

今こそ、遠隔臨場！

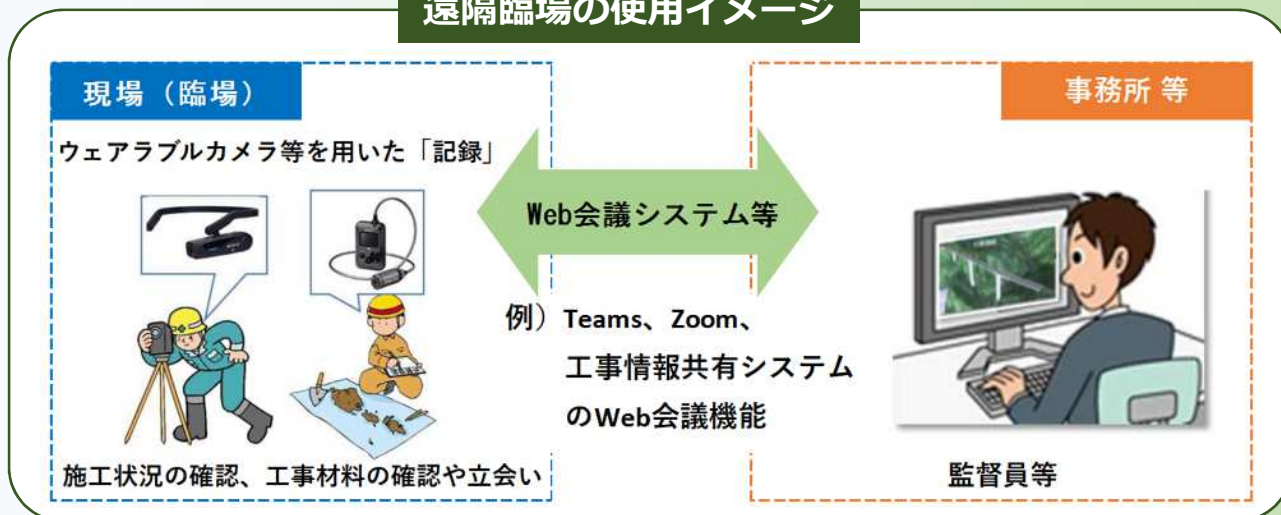


東京都建設局

動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）とWeb会議システム等を介して、立会や材料検査等をリモートで実施。

移動時間や立会の待ち時間の軽減等により、**受発注者の建設現場の働き方改革、生産性向上**につながる。

遠隔臨場の使用イメージ



対象と適用範囲

- ◆ 工事：土木、建築、土木設備、建築設備 → ①～⑤で適用可
- ◆ 委託：地質調査 → ④及び⑤で適用可

① 施工状況の確認

例)
コンクリート打設状況、矢板打込状況等

② 工事材料の検査

例)
電線共同溝ボックス・鑄鉄製蓋、道路標識等

③ 中間検査

例)
検査対象の工事事務物における出来形確認

④ 立会い

例)
出来形確認、品質確認

⑤ その他

例)
現場の不一致、事故等の報告等

遠隔臨場に係る費用

遠隔臨場にかかる費用は

設計変更の対象

ただし、「⑤その他」のみの場合、設計変更の対象外

費用例

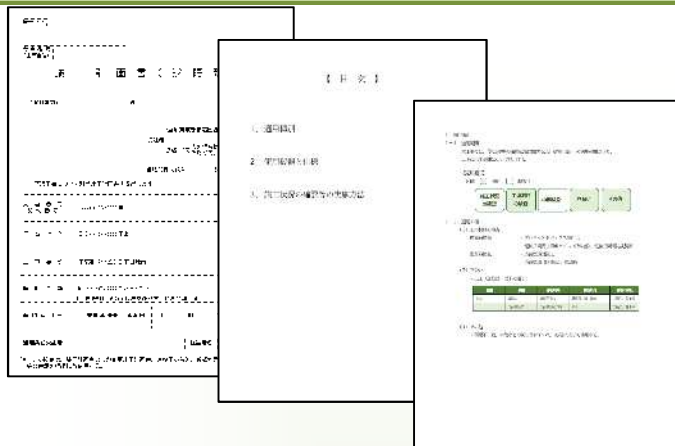
(工事情報共有システムのWeb会議機能使用の場合)

- ① ウェアラブルカメラ代（撮影機器）
- ② 撮影機器の設置費
- ③ 携帯会社の回線利用料（通信費）

※工事情報共有システムの利用に係る経費（登録料及び使用料）は**当初設計から計上済み**。（土木工事及び土木設備工事）

◎裏面に、東京都建設局HP掲載の関連資料の紹介がございます。

【東京都建設局HPに掲載の遠隔臨場関連資料】



【施工計画書（記載例）】

- ◆ 遠隔臨場の施工計画書について記載例をHPに掲載。
- ◆ 様式（Word、Excel）をダウンロードして、編集すればそのまま使用可能。

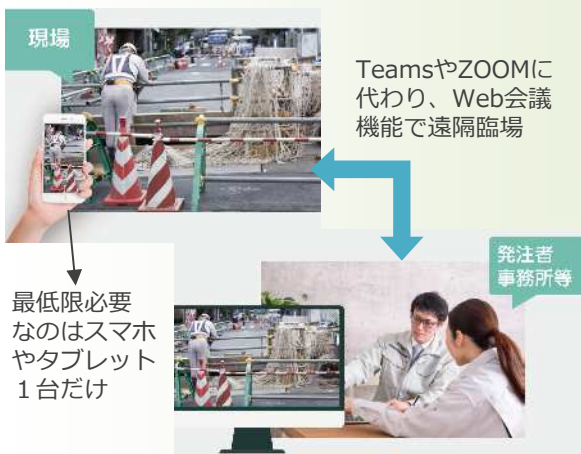
書類作成をラクに！



【建設現場における遠隔臨場 事例集】

- ◆ 道路・河川・公園工事、地質調査委託等事例多数。
- ◆ 実際に使用した機器や受発注者の声も紹介。

活用イメージをわかりやすく！



【工事情報共有システム（ASP方式）のWeb会議機能を活用！】

- ◆ 工事情報共有システムのWeb会議機能を使用した遠隔臨場が可能。
- ◆ スマホやタブレット1台で、機器の選定や費用の心配なく、気軽に利用可能。

ASPと合わせてDX化！



東京都建設局HPへはこちらから↓

URL
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/appli/ukeoi/index.html#enkakurinjo>

QRコード

問い合わせ先：東京都建設局総務部技術管理課
 S0000402@section.metro.tokyo.jp

- ◆ 試行要領や国・建設局の活用事例など、まずは見て活用イメージを膨らませよう！